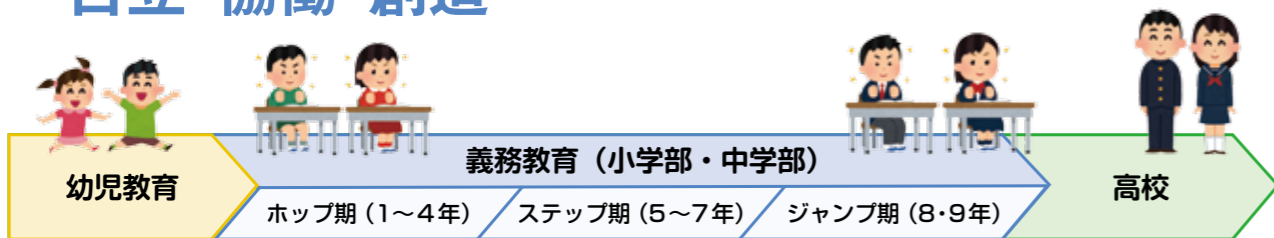


大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

0～18歳までの「つなぐ」教育 ～自立・協働・創造～



大槌町教育委員会では、0～18歳までの学びの保証をめざし、今年度から「つなぐ」をキーワードとして教育を推進しています。

「つなぐ」には、①学びをつなぐ ②ふるさとをつなぐ ③地域をつなぐ の3つの意味があります。引き続き一貫教育、ふるさと科、コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきます。



幼児教育と小学校教育を「つなぐ」！ ～今年度も幼小接続推進プロジェクトがスタート！～

「学びをつなぐ」取り組みとして、幼児教育と小学校教育が滑らかに接続し、就学した際に段差と途切れのない教育となる事をめざし、町内の保育士と低学年の先生を対象に「幼小接続研修会」を行いました。研修会では、お互いの教育活動や内容の理解、幼児教育と小学校教育をつなぐための「スタートカリキュラム」の大切さについて学び合いました。

今年度の「幼小接続推進プロジェクト」のスタートとして、5月28日（金）に吉里吉里学園小学部1年生の参観授業を行いました。担任の橋本加奈子先生が国語「長音の表記に気を付けて読もう」の授業を行いました。入学から2ヶ月ほどしか経っていませんが、1年生の子どもたちは45分間、先生の話をしっかり聞いたり、教科書の文の中から伸ばす読み方の平仮名を見つけたり、友達と考えを相談したりと、集中して学んでいました。それぞれの保育園、こども園、幼稚園から参観に来た保育士さんたちも、子どもたちの成長ぶりに驚いていました。

交流会では、子どもたちの普段の様子、昨年度の幼児教育の様子などについて情報交換をしました。子どもたちの成長した様子が、これまでの活動や教育の積み重ねがあつてのことだということを改めて実感できました。

今年度の「幼小接続推進プロジェクト」はまだまだ続きます。子どもたちの頑張る姿を参観しながら、今後も幼児教育と小学校教育のよりよい連携をめざしていきます。



大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！

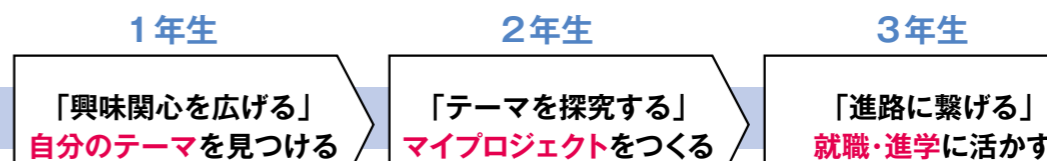


大槌高校
ホームページでも
行事の様子を
発信しています！

「三陸みらい探究」での学びを進路に繋げる

開始から3年目を迎えた探究授業「三陸みらい探究」。今年度は、3年生向けのカリキュラムが本格的にスタートしました。3年生では、これまでの活動を通して得た学びをそれぞれの進路に繋げることを目指し、希望進路別に活動を行っています。今回は、先日行われた2つの活動の様子をお届けします！

三陸みらい探究・各学年ごとのテーマ



職業インタビュー

就職や専門学校への進学を希望する生徒は「2040年の仕事と私」をテーマに活動しています。

5/27（木）の活動では、23名の生徒が自身の目指す職業に従事する人にオンライン上でインタビューを実施しました。町内外の事業所の協力により、大槌高校の卒業生を中心とした18名に参加いただきました。生徒たちは、普段の授業だけでは得られない刺激を受けている様子でした。今後は「自分が身に付けたい力」を設定し、その力を身に付けるための小さなマイプロジェクトに取り組んでいきます。



生徒の感想

- ・先輩がヘアメイクの仕事を目指したきっかけの話に感動しました。私も先輩のような人になりたいと思いました。
- ・時代の変化に対応できるように、コミュニケーション能力を磨いていく必要があると感じました。

アカデミック・オンラインディスカッション

大学進学や専門学校への進学を希望する生徒は、「思考力」や「議論力」を身に付けることを目的とした活動を行っています。6/3（木）の活動では、16名の生徒が自身の興味・関心に近い領域の専門家8名とオンラインで接続し、それぞれのテーマに分かれて議論を行いました。生徒たちは、具体的なアドバイスをもらい自身の考えをより一層深めている様子でした。今後は、7月に2回目のディスカッションを予定し、準備を進めています。

生徒の感想

- ・見る人によって定義が異なり、人によって違う捉え方があることに気が付きました。
- ・これまでの生徒同士でのディスカッションでは出てこなかった考え、意見を知ることができました。

